

令和5年度(2023年度)高校講座実施報告  
(6月分)

令和5年8月10日

●神奈川県 県立有馬高等学校(令和5年6月29日)

講演テーマ: SDGsと国際協力の仕事

講師: 総合外交政策局 女性参画推進室 古本建彦 室長

開催形式: 対面



●山梨県 県立都留興譲館高等学校(令和5年6月28日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 古屋智将 課長補佐

開催形式: 対面



●東京都 私立淑徳巣鴨高等学校(令和5年6月28日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 戦略的対外発信拠点室 山崎太 課長補佐

開催形式: 対面



●神奈川県 県立神奈川総合高等学校(令和5年6月27日)

講演テーマ: 世界と関わる意味を考える～外交政策の最前線から～

講師: 欧州局 政策課 木越寿人 課長補佐

開催形式: 対面



●三重県 国立鳥羽商船高等専門学校(令和5年6月23日)  
講演テーマ: 国際社会で生きていくためには(外交の現場から)  
講師: 国際協力局 気候変動課 大沼寛 首席事務官  
開催形式: 対面



●香川県 私立大手前丸亀高等学校(令和5年6月22日)  
講演テーマ: 外務省についてと高校生へのメッセージ  
講師: 国際協力局 国別開発協力第二課 深澤留美 課長補佐  
開催形式: 対面



●愛知県 県立明和高等学校(令和5年6月22日)

講演テーマ: 国際社会で生きていくためには(外交の現場から)

講師: 国際協力局 気候変動課 大沼寛 首席事務官

開催形式: 対面



●新潟県 新潟市立高志中等教育学校(令和5年6月22日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 古屋智将 課長補佐

開催形式: 対面



●岡山県 県立総社南高等学校(令和5年6月21日)

講演テーマ: 外務省についてと高校生へのメッセージ

講師: 国際協力局 国別開発協力第二課 深澤留美 課長補佐

開催形式: 対面



●新潟県 県立村上中等教育学校(令和5年6月21日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 古屋智将 課長補佐

開催形式: 対面



●山梨県 北杜市立甲陵高等学校(令和5年6月19日)

講演テーマ: 世界の中の日本

講師: 国際協力局 国別開発協力第一課 石丸淳 課長

開催形式: 対面



●福岡県 福岡市立福翔高等学校(令和5年6月14日)

講演テーマ: 外交官という選択

講師: アフリカ部 アフリカ第二課 小寺次郎 首席事務官

開催形式: 対面



●山口県 県立西京高等学校(令和5年6月14日)

講演テーマ: 国際社会と外交

講師: 経済局 政策課 滝祥光 首席事務官

開催形式: 対面



●福岡県 県立京都高等学校(令和5年6月13日)

講演テーマ: 外交官という選択

講師: アフリカ部 アフリカ第二課 小寺次郎 首席事務官

開催形式: 対面



●山口県 私立宇部フロンティア大学付属香川高等学校(令和5年6月13日)

講演テーマ: 国際社会と外交

講師: 経済局 政策課 滝祥光 首席事務官

開催形式: 対面



●愛媛県 国立愛媛大学附属高等学校(令和5年6月9日)

講演テーマ: 外務省の役割、パブリック・ディプロマシー

講師: 大臣官房 危機管理調整室 吉田和隆 主査

開催形式: 対面



●栃木県 県立宇都宮北高等学校(令和5年6月7日)

講演テーマ: 外務省の仕事について

講師: 大臣官房 国内広報室 中房丙后 課長補佐

開催形式: 対面

参加者からの感想(抜粋)

- 外務省と聞くと難しいと感じていましたが、講演を聴くことによって少し身近に思う部分がありました。現在では紛争や戦争などが他国で行われていますが、今の日本が守られているのはこれらの仕事のおかげであるということがわかりました。
- 日本は海外の中でも先進国であるが、まだまだ改善すべき点があると知ったので、自分でも見つけて行動に移していきたいです。
- 全て印象深い話だったのだが、その中でも特に異文化理解についての話が強く心に残っている。国際社会に目を広く向けること、そして人とのコミュニケーションの在り方について考える良いきっかけとなった。
- 外務省の仕事では、他国との交渉のみではなく、国同士の文化交流や通訳の仕事も行われていることを初めて知りました。様々な経験や感想を聞かせていただき、とても勉強となったと同時に、外務省が行っている仕事に興味がわきました。
- 私は今まで英語を苦手としてきましたが、今回の講演を聴いて、外国に興味を持ち、英語の学習により一層力を入れていきたいと思いました。
- 外交官は自国を背負いながらも他国の外交官と良好な関係を築きながら貢献していかなければ、外交官としての責務を果たすことはできないことを痛感しました。時には現地に視察に行って、その国の内情や状況を確認することもあって、体を張っていく姿はカッコいいと思いました。
- 私が印象に残っているのは、知識や経験はどこかで役に立つというお話です。今、受験に向けてつけている知識をそこで終わりにせず、これから先、大学に進み社会人になっても活かせるような、そんな人になりたいと思います。
- 外交は自分には程遠い関係のないものだと思っていたけれど、自分が海外に行ったら日本代表になるという言葉聞いて、すごく責任を感じると同時に、外交が身近に感じられて、そういった仕事も魅力的だと思った。